

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

いま蘇る

これは夢か、魔法か?

カンブルランのタクトが生む幻想ドラマ

皇帝

指揮 シルヴァン・カンブルラン

ピアノ ハヴィエル・ペリアネス コンサートマスター 小森谷 巧



ストラヴィンスキー: 管弦楽のための4つの練習曲

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73 「皇帝」

ベートーヴェン: バレエ音楽「プロメテウスの創造物」から

ストラヴィンスキー: バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)

✧ 読売日本交響楽団 第188回 土曜マチネーシリーズ

2016 **6.18**(土)14時開演 S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C~~SOLD OUT~~

✧ 読売日本交響楽団 第188回 日曜マチネーシリーズ

2016 **6.19**(日)14時開演 S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C~~SOLD OUT~~

東京芸術劇場コンサートホール

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) 事業提携: 東京芸術劇場

Conductor: SYLVAIN CAMBRELING
Piano: JAVIER PERIANES
Concertmaster: TAKUMI KOMORIYA

STRAVINSKY: Four Etudes
BEETHOVEN: Piano Concerto No. 5
in E flat major, op. 73 "Emperor"
BEETHOVEN: Excerpts from
"Die Geschöpfe des Prometheus"
STRAVINSKY: Fire Bird (1919 version)

SATURDAY MATINÉE SERIES, No. 188
Sat. 18 June 2016, 14:00
SUNDAY MATINÉE SERIES, No. 188
Sun. 19 June 2016, 14:00
Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

& 火の鳥

ベートーヴェン×ストラヴィンスキー カンブルランが放つ鮮烈なタクト!

若きストラヴィンスキーの出世作となったバレエ組曲「火の鳥」には、ヨーロッパにとって未知なる音楽大国ロシアの豊かなファンタジーがあふれている。作曲の師であるリムスキー＝コルサコフゆずりのエキゾチックな全音階と、ラヴェルをほうふつとさせる色彩豊かなオーケストレーションは、ロシアの古いおとぎ話をアヴァンギャルドな総合芸術として蘇らせた。ディアギレフ率いるバレエ・リュス(ロシア・バレエ団)の委嘱から生まれた「火の鳥」は1910年6月、初演されたパリで強烈な閃光を放ったのだった。

“色彩の魔術師”カンブルラン指揮によるストラヴィンスキーは、これまでも読響ファンに鮮烈な印象を残してきた。「火の鳥」に続いて作曲家が手がけたバレエ音楽「ペトルーシュカ」「春の祭典」は、2012、13年のライブ録音がすでにCD化されている。カンブルランと読響のコンビは今回も、20世紀音楽の進む道を予言した記念碑的作品をダイナミックに飛翔させるだろう。

不朽の名作であるベートーヴェンの「皇帝」で独奏者として迎えられるのは、スペインの実力派ピアニストのハヴィエル・ペリアネス。ファリャやモンポウといったスペインのピアノ音楽のスペシャリストとして有名だが、ベートーヴェンやシューベルトなどの古典派作品でも定評がある。その正統的な解釈と確かな技巧は折り紙付きだ。「皇帝」は巨匠バレンボイムの指揮で弾いたこともある十八番。カンブルラン×読響とのフレッシュな演奏に期待したい。

SYLVAIN CAMBRELING Conductor シルヴァン・カンブルラン (指揮)

色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導く名匠。1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から読響常任指揮者を務め、古典から現代まで幅広いレパートリーを演奏し、既に高い評価を得ている。現在、世界有数のオペラハウスであるシュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を務めるほか、クラングフォーラム・ウィーンの首席客演指揮者も兼任している。ベルギー王立モネ歌劇場の音楽監督、フランクフルト歌劇場の音楽総監督、バーデン・バーデン・フライブルクSWR響の首席指揮者を歴任。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ミュンヘン・フィルなどの世界の一流オーケストラに客演するほか、ザルツブルク音楽祭、メトロポリタン・オペラ、パリ・オペラ座などでも活躍している。録音にも積極的で、SWR響などと多数のCDをリリース。読響との《春の祭典》/中国の不思議な役人》は「レコード芸術」誌の特選盤に選ばれるなど、絶賛を博した。2015年3月には、読響を12年ぶりの欧州公演へ導き、各地で成功させた。



©Josep Molina

JAVIER PERIANES Piano ハヴィエル・ペリアネス (ピアノ)

スペインが生んだ新時代の“ピアノの詩人”。1978年、スペインのネルヴァ生まれ。バレンボイム、グールド、デ・ラローチャらの薫陶を受け、欧州を中心に世界各地で活動を展開している。ニューヨークのカーネギーホール、ベルリンのフィルハーモニーなどの著名なホールに登場しており、マゼール、メータ、フリュベック・デ・ブルゴス、デミルカーノフ、ハーディングら世界的な指揮者と共演を重ねている。2015/2016シーズンは、ウィーン響、シカゴ響、ボストン響、ロンドン・フィルなどに招かれている。2016年2月にはロイヤル・コンセルトヘボウ管と共演し、大きな成功を収めた。読響とは2013年以来、2度目の共演となる。

©読響

読売日本交響楽団 第188回 土曜マチネーションシリーズ

2016年6月18日(土)14時開演

S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C ~~SOLD OUT~~

読売日本交響楽団 第188回 日曜マチネーションシリーズ

2016年6月19日(日)14時開演

S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C ~~SOLD OUT~~

東京芸術劇場コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分
(※駅地下通路2b出口と直結しています)

※観客サービス 東京芸術劇場には一時託児施設があります。だっこルーム 03-3981-7003 学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットぴあ 0570-02-9999、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296